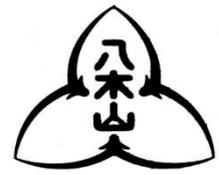


# 八木山小だより



学校教育目標「自立心のある子」

令和5年9月29日発行

## 前期をしめくり 後期へつなぐ



第Ⅱ期も早くもひと月が経ちました。春にスポーツフェスティバルを終えている今年度は、例年よりじっくりと学習や生活に向かいました。そして、まもなく終わる前期をよい姿で締めくり、後期のスタートにつなげようと、学級や学年部でキャンペーン活動を行いました。

時間を守ることに取り組んだ1年生は、授業が終わると次の授業の教科書やノートを準備してからトイレなどを済ませました。黒板係の子が黒板をきれいに消して次の授業に備えました。チャイムが鳴る前から席に着いてチャイムを待つ子、チャイムを聞いて素早く着席する子など、みんなが時間を意識して行動しました。そして、チャイムが鳴り終わると同時に日直の号令であいさつをして授業を始めました。入学から半年、すっかり立派な小学生になりました。

27日(水)には低学年部集会を行い、前期の宝物交流会をしました。1・2年生の3学級が、それぞれ前期100日間の学級の成長を確かめ合いました。自分たちの宝物を堂々と語る姿はとても誇らしげでした。宝物発表に続いて学年部レク大会を楽しみました。宝物発表もレク大会も実行委員を中心に自分たちで計画・準備し、当日も見事にやりきりました。これもまた素晴らしい宝物です。



全校では、企画委員会の「あいさつキャンペーン」を行いました。朝から暑さが厳しくて活動できない日もありましたが、活動できる日には多くの子が「ハロード」に参加して、気持ちの良いあいさつの道ができました。参加するともらえるシールを児童玄関に張られた各クラスの台紙に貼っていき「ハロードきてね」という言葉が完成しました。環境づくり委員会のキャンペーンも行われ、もくもくすみずみ掃除が一段とよくなりました。全校でも前期のよい締めくりができました。

## ☆頑張っています！「ボランティア手帳」「やぎっこノート」

昨日(9/28)までに、82名がボランティア活動50回以上を達成し、述べ130冊のボランティア手帳が提出されました。あいさつボランティア「ハロード」に参加したり市民清掃に協力したりして、学校や地域のために活動する子どもたちに頼もしさを感じます。お手伝い的な内容も多いですが、子どもたちは家族に喜んでもらいたいと、自分のできることをしたり、いろいろな仕事に挑戦して回数を重ねるにつれて上手にできるようになったりなど、ボランティア活動(お手伝い)を通して人の役に立つ喜びや自分の成長を感じる喜びを味わっています。



「やぎっこノート」は、2年生以上の児童のうち44名が1冊以上やりきり、述べ63冊の提出がありました。自主学習が習慣化し、ひと月ほどで1冊やりきる子もいますが、長い時間をかけてこつこつと続けてやりきる子がほとんどです。どんなに時間がかかっても、途中で投げ出すことなく1冊最後までやりきる子どもたちに感心しています。どのページも丁寧な文字でびっしりとまとめられていたり、ドリル学習に加えて日記や視写、興味をもったことについての調べ学習など工夫ある学習がされていたりして、子どもたちが集中してじっくりと学習に向き合ったことが伝わってきます。自主学習に取り組むことで、学習内容をしっかりと身に付けられるだけでなく、根気強く最後までやり抜く力や創意工夫する力なども身に付けられると考えています。何より努力してやりきったときの喜びは大きく、自信となり自己肯定感につながっていると感じています。

ボランティア活動や自主学習を通して、学校の教育目標に掲げた「考える子・やさしい子・がんばる子」を育てていきたいと思っています。「頑張っているね」「すごいね」「うれしいよ」「ありがとう」など、ご家庭でも認めや励まし、感謝の言葉をかけていただけると嬉しいです。